

# 水産業の発展を誓う

## 東町漁協、東海シープロと協定

本町は、東町漁業協同組合（長元信男組合長）、東海シープロ株式会社（福岡県、望月美宏社長）と「長島町水産業振興に関する包括連携協定」を締結し、11月1日に役場応接室で調印式が行われました。

この協定は本町の水産業の振興を図るため、三者が連携・協力し当該事業を効果的に実施することを旨とします。

調印式には川添町長、長元組合長、望月社長が出席し、川添町長は「互いに協力し、養殖プリーを中心輸出拡大を図りたい」と抱負を述べました。

そのほか、町が保有する町水産種苗センターの管理運営を東町漁協に委託する構想も発表され、委託後は東海シープロの支援を受けて養殖用人工種苗の生産に注力することとしました。



↑調印後、手を取り合う長元組合長、川添町長、望月社長（写真左から）

## 犯罪のない町づくりを目指して

### 九電工が防犯カメラ・ブザー贈呈

10月30日、役場庁議室で株式会社九電工（福岡県、西村松次代表取締役社長）鹿児島支店から本町に防犯カメラ2セットと防犯ブザー500個の贈呈式が行われました。

これは同社の地域貢献活動「さわやかコミュニティ旬間」の一環で行われたもので、今回は同活動が50年の節目を迎えたことを記念して、本町への贈呈が決定しました。

川添町長は「住民が平穏な暮らしを営むことができる町づくりに取り組みたい」と話しました。

防犯カメラは諸浦港周辺と役場周辺に設置予定で防犯ブザーは町内各小学校の低学年の児童に配布される予定です。



↑川添町長に目録を手渡す中島雄二上席執行役員 鹿児島支店長（写真右）

# 町内肉牛が県ナンバー1

## 県肉牛枝肉共進会

10月31日から11月5日にかけて、南九州市で開催された平成30年度鹿児島県肉牛枝肉共進会で、本町から出品した肉牛が最優秀賞一席と二席に輝きました。

グランドチャンピオンとなる一席に輝いたのは、中山正美さん（犬鹿倉）所有の「翔哉64」号、二席には坂之下宗光さん（山門野中）所有の「幸久」号が選ばれ、それぞれ、農林水産大臣賞やマーケットニーズ賞などを併せて受賞しました。

畜産王国と呼ばれる大隅地区などの80品が出品される中、本町から出品した肉牛はすべて最優秀賞または優秀賞に輝くなど、JA鹿児島いづみの地区別2位に大きく貢献しました。

2回目の受賞となった中山さんは「非常にうれしい」と喜びました。



↑受賞を喜ぶ中山さん（写真左）と坂之下さん